

# 第1問 発音・アクセント問題

## A 発音問題を攻略 ◆学習の際には必ず実際に口に出して発音してみること!

①狙われる発音、出る単語は決まっている。  
 ②頻出語リストを完璧にマスターせよ! ⇒ 音読へ  
 ※大切なことは口に出して発音してみること 同じ綴りで違う発音!

### (1) いくつもの読み方のある綴りは狙われる!

●注意すべき母音 狙われるものは決まっている! ● 変な発音が狙われるのダ!

<b>a</b> は [ei]/[æ]/[a:]	ancient [ei]	manager [æ]	calm [a:]	wander [ɔ:]
	false [ɔ:]			
<b>au, aw</b> は [ɔ:] が多い	author, audience, awkward, awful [ɔ:]	laughter [æ]		
	※ aught, ought は [ɔ:t]			
<b>ea</b> は [i:]/[e]	breathe [i:]	breath [e]	break, great, steak [ei]	
<b>ear</b> は [ə]/[eə]/[ɜ:]	beard [iə]	bear [eə]	earn [ɜ:]	heart [a:]
<b>i</b> は [i]/[ai]	wisdom [i]	delight [ai]		
<b>o</b>	control [ou]	hot [a]	lost [ɔ]	above, oven [ʌ]
	wolf [u]			
<b>oa</b> は 99% [ou] オウ	approach [ou]	【例外】 abroad, broad [ɔ:]		
<b>oo</b> は [u:]/[u]/[ʌ]	food [u:]	wood, wool, hood [u]	flood, blood [ʌ]	
<b>ou</b>	doubt [au]	shoulder [ou]	southern [ʌ]	bought [ɔ:]
	soup [u:]			
<b>ow</b> は [au]/[ou]	allow [au]	arrow [ou]	knowledge	
<b>u</b>	discuss [ʌ]	refuse [ju:]	rude [u:]	bush [u]
	bury [e]	busy [i]		

●注意すべき子音 狙われるものは限られている!

<b>ch</b> は [tʃ]/[k]/[ʃ] (チクショー)	attach [tʃ]	stomach [k]	machine [ʃ]
<b>gh</b>	height [黙字]	tough [f]	ghost [g]
<b>ng</b> は [ŋ]/[ŋg]	sing [ŋ] [語末]	finger [ŋg] [語中]	【例外】は比較級
<b>s</b> は [s]/[z]/[z]	fasten [s]	pleasure [z]	museum [z]
<b>ss</b> は [s]/[z]/[ʃ]	missile [s]	dessert [z]	pressure [ʃ]
<b>th</b> は [θ]/[ð]	thought [θ]	though [ð]	

(2) 発音の微妙な違いに注意 heart [a:] — hurt [ɜ:] singing [ŋ] — longer [ŋg]

(3) カタカナ語は狙われる! oven × オープン olive × オリーブ front × フロント label × ラベル ※発音・アクセントはカタカナ発音と異なることが多い

(4) 「黙字」に注意! bomb muscle neighbor kneel calm cupboard aisle castle

(5) よく似た単語に注意! ※それぞれ声に出して発音してみましょう

southern — south	warm — worm	worth — worthy
loose — lose	advice — advise	wide — width

## B アクセント問題 特に「カタカナ語」には注意!

※基本ルールをマスターした後で、頻出語(出るものは決まっている)を徹底的に練習すべし。

【苦手な人はまず母音(a,i,u,e,o)を○で囲め! → それから一番強い箇所を解答】

①代表的な基本ルールをマスター  
 → ②狙われる頻出語へ  
 リストを完璧にマスターせよ! ⇒ 音読へ  
 ※例外も押さえて! ※大切なことは口に出して発音してみること

【代表的なアクセントルール】 語尾に注目するノダ! 「名前動後」にも注意

- 「双子」の法則…連続する母音 (-ee-, -oo-) の箇所が強い
- 「三味線語」ルール…「ション」(-sion) 「シヤン」(-cian) で終わる語はその1つ前が強い
- 「イクイク」ルール…-ic, -ical で終わる語はその1つ前が強い
- 「ヤンヤンヤスヤントヤリテエ」の法則…-ion, -ian, -ious, -ient, -ial, -ity で終わる語はその1つ前が強い
- 「愛の法則」…iの1つ前の母音にアクセント -ic, -ics, -ical, -ian, -ion, -ial, -ity
- 「見て見て」ルール…-meter で終わる語はその1つ前が強い
- 「渋いから痛い」の法則…-sive, -ical, -ity で終わる語はその1つ前が強い
- 「子チビ母チビ」の法則…「子音 + tive」は1つ前 「母音 + tive」は2つ前が強い
- 「あぶる朝へと合図」…-able, -ous, -ate, -ize で終わる語はその2つ前が強い
- 複合名詞 (名詞 + 名詞) は前の名詞の方に強勢がある (出題例) mountain bike, engine trouble, health club
- 「オロジーの上」…-ology の上にアクセント
- 最後にアクセントは狙われる…prefer, refer, admire, advise, advice, canal, control, guitar, violin, cigar など ★ジェーン先生のCDを繰り返し聞くべし!

《大原則》読めない単語は覚えられない! 音読せよ!!  
 ▲日頃から一つ一つの単語を発音とアクセントも含め正しく覚える他はない!

# 【実践問題】 1問20秒、3分で！

【1】 次の問い(A・B)に答えよ。

(配点 14)

A 次の問い(問1～3)において、下線部の発音がほかの三つと異なるものを、それぞれ下の①～④のうちから一つずつ選べ。

問1   
 ① input      ② iron      ③ island      ④ item

問2   
 ① management    ② stranger    ③ target      ④ tragedy

問3   
 ① absorb      ② de**bt      ③ doub**t      ④ thumb****

B 次の問い(問1～4)において、第一アクセント(第一強勢)の位置がほかの三つと異なるものを、それぞれ下の①～④のうちから一つずつ選べ。

問1   
 ① challenge      ② honest      ③ injure      ④ perform

問2   
 ① adequate      ② benefit      ③ interpret      ④ quantity

問3   
 ① anticipate      ② influential    ③ ridiculous    ④ technology

問4   
 ① artificial      ② competition    ③ engineering    ④ phenomenon

(2013年度追試験)

※下線のある単語は

## ルールを知っていたらかなり楽チン!

## 第2問 文法・語法・会話・語整序問題

**A 文法・語法・語彙** 意味をよく考え1問20~30秒で解くべし!

●狙われる事項は決まっている!

確実に差がつく問題 → 演習量(何題解いたか)がモノを言う分野  
 動詞、時制、分詞、動名詞、不定詞、関係詞、仮定法、接続詞、助動詞、比較などを重点  
 チェック! 紛らわしい形容詞、意外な意味を持つ単語、基本動詞を用いた熟語 も要注意!  
 1つの単元ごとにツブしていくのが勉強法

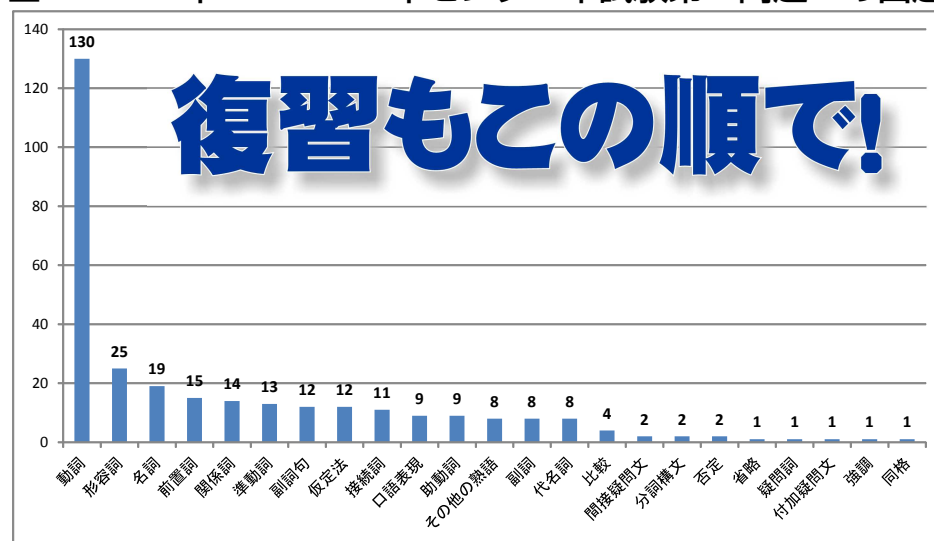
**過去問が一番のデータベースだ! → 徹底的に繰り返してマスターせよ**

圧倒的に動詞が狙われる!



**基本しか聞いてこない!! ~基本を大切に!** 重要

■ 1990年~2014年センター本試験第2問題Aの出題分野



◎「答が合えば OK」はダメ。プロセスが重要。「ポイントを自分で自分に声を出して解説できるまで」し  
 つこくしつこく! 分かるまで! 自分はどこにつまずいたのか? を洗い出す。

- ①時制 ②仮定法 ③助動詞+完了形 は超頻出
- ※慣用表現や定型表現はぎりぎりまでできる限りたくさん覚える
- ★毎日10分程度の制限時間を設定して30~50題を解いてみる
- ★英語検定(準2級・2級)の問題も参考になる

## B 会話文補充 「空所の後(前)の相手の応答」がカギ!

**空所の後ろ**の発言(そして前の発言)とのつながりを見抜け! 1問1分以内  
 +決まり文句の暗記 ●「消去法」も有効 → 検算を忘れない!

**C 語句整序 差がつく問題!** 小さくつないで大き  
 くまとめる! << 空所の前後と選択肢から文の内容を推測して並べかえをしない >>  
 ※2つ以上の学習項目が盛り込まれていることが多い

- (1) **空所の前・後部分にヒントあり** どんな意味にしたいのか? をイメージ
- (2) **構文を決定する(骨組み)動詞を決める** S+V+O+Cと後置修飾が狙われる
- (3) **小さなかたまりをいくつか作ってみる(「選択肢減らしの術」)** 熟語はないか?  
 「8つのセット」(下記)を意識せよ! 確実に組み合わせできるものから減らす  
 ☐ (1) S+V (2) one's + 名詞 (3) the/a(n) + 名詞 (4) 前置詞 + 名詞 (5) 前置詞 + V-ing  
 (6) 助動詞 + V (7) to + V (8) 接続詞・関係詞 + S+V ... この8つのセットに着目だ
- (4) **意味が通るかどうかが検算も《重要》** 1問1分で解答が目安

◎二カ所ともマークすること。ここでずれる場合が...大問ごとに番号のズレはないか確認。

## ■ 語句整序問題でセットを作る時の8つの着眼点~

①「主格代名詞・名詞+V」のセット (例: He suggests など) <span style="float: right;">◎ 動詞を決めてから主語へ</span>
②「所有格(one's)+名詞」のセット (例: his bookなど)
③「冠詞(the/a/an)+名詞」のセット (例: the book/a book/ an orangeなど)
④「前置詞+(代)名詞」のセット (例: on the deskなど) ※前置詞の後には名詞が来る
⑤「前置詞+動名詞(V-ing)」のセット (例: on goingなど) <small>※前置詞の後には名詞が来る。動詞を続けるには-ing(動名詞)にして名詞化</small>
⑥「助動詞+動詞の原形」のセット (例: must go, can playなど)
⑦「to+動詞の原形」のセット(不定詞) (例: to goなど) ※前置詞の to と区別
⑧「接続詞/関係詞/疑問詞 S+V」のセット (例: while S+V where S+V など)

# 【実践問題】

## 難問に時間をとられるな!

【2】 次の問い(A~C)に答えよ。

(配点 44)

A 次の問い(問1~10)の  ~  に入れるのに最も適当なものを、それぞれ下の①~④のうちから一つずつ選べ。ただし、 ~  については、( A )と( B )に入れるのに最も適当な組合せを選べ。

問1 When I looked out of the window last night, I saw a cat  into my neighbor's yard.

- ① is sneaked    ② sneaking    ③ sneaks    ④ to sneak

問2 Ever since they first met at the sports festival, Pat and Pam  each other.

- ① are emailing    ② emailed  
③ have been emailing    ④ will email

問4 My wife wanted to have our son  dinner for us, but I ordered a pizza instead.

- ① cook    ② cooked    ③ cooks    ④ to cook

問7 《難》 We were shocked when the cashier added  the bill and the total was 20,000 yen.

- ① at    ② from    ③ off    ④ up

問8 The ( A ) of treatment at the hospital is much lower for ( B ) who have health insurance.

- ① A : cost    B : them  
② A : cost    B : those  
③ A : fare    B : them  
④ A : fare    B : those

問10 《難》 My mother is trying very hard to ( A ) ends meet, ( B ) she never lets me buy anything unnecessary.

- ① A : get    B : but  
② A : get    B : so

- ③ A : make    B : but  
④ A : make    B : so

## 知らなければできない! 深入りするな!

### ★難問で時間を使い過ぎるのが最も危険

B 次の問い(問1~3)の会話の  ~  に入れるのに最も適当なものを、それぞれ下の①~④のうちから一つずつ選べ。

問1

Martha : What do you want to do this afternoon?

Ed : Well, how about going to that new movie?

Martha : Sure. It starts at three o'clock, doesn't it? I'll be ready.

Ed : On the other hand, we haven't played tennis for a long time.

Martha : Oh, come on!  Either is fine with me.

- ① Change your mind.    ② Make up your mind.  
③ Mind your manners.    ④ Open your mind.

C 次の問い(問1~3)において、それぞれ下の①~⑥の語を並べかえて空所を補い、最も適当な文を完成させよ。解答は  ~  に入れるものの番号のみを答えよ。

問1

Dan : How did your health check go?

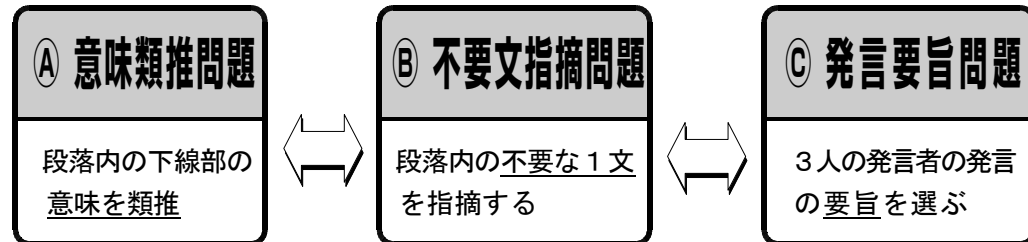
Mike : Not bad, but the doctor \_\_\_\_\_  \_\_\_\_\_  \_\_\_\_\_

- ① advised    ② exercise    ③ get    ④ me  
⑤ regular    ⑥ to

(2014年度本試験)

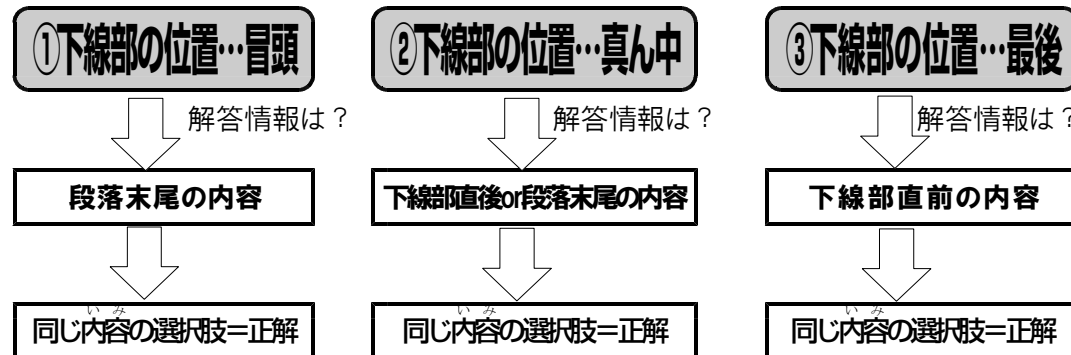
### 第3問 語義類推・不要文削除・発言要約問題

■第3問はすべて段落内の流れを理解、という点で共通！



<抽象⇒具体>の流れに注目して、「言い換え」を見抜け！

A 本文中に必ずその説明あり！ それが見つけれられるか？下線部とヒントの位置関係

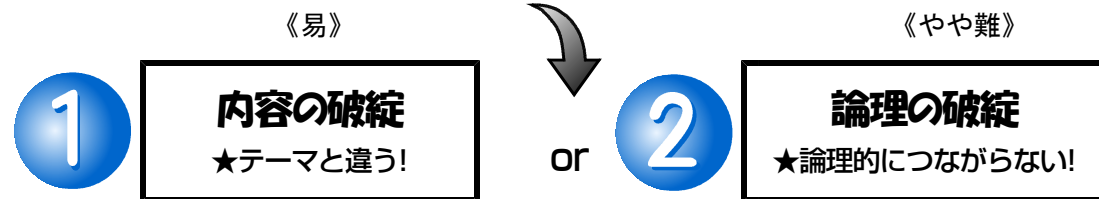


※下線部の位置によってヒントの位置が分かる⇒パターンは3つ！「消去法」も

B 「仲間ハズレ」を見つける！《新傾向問題》 ★テーマはただ一つ！

=内容の一貫性

与えられた英文のテーマは最初に提示されることがほとんど。冒頭をチェック！「関係のない文」は次のどちらかだ。



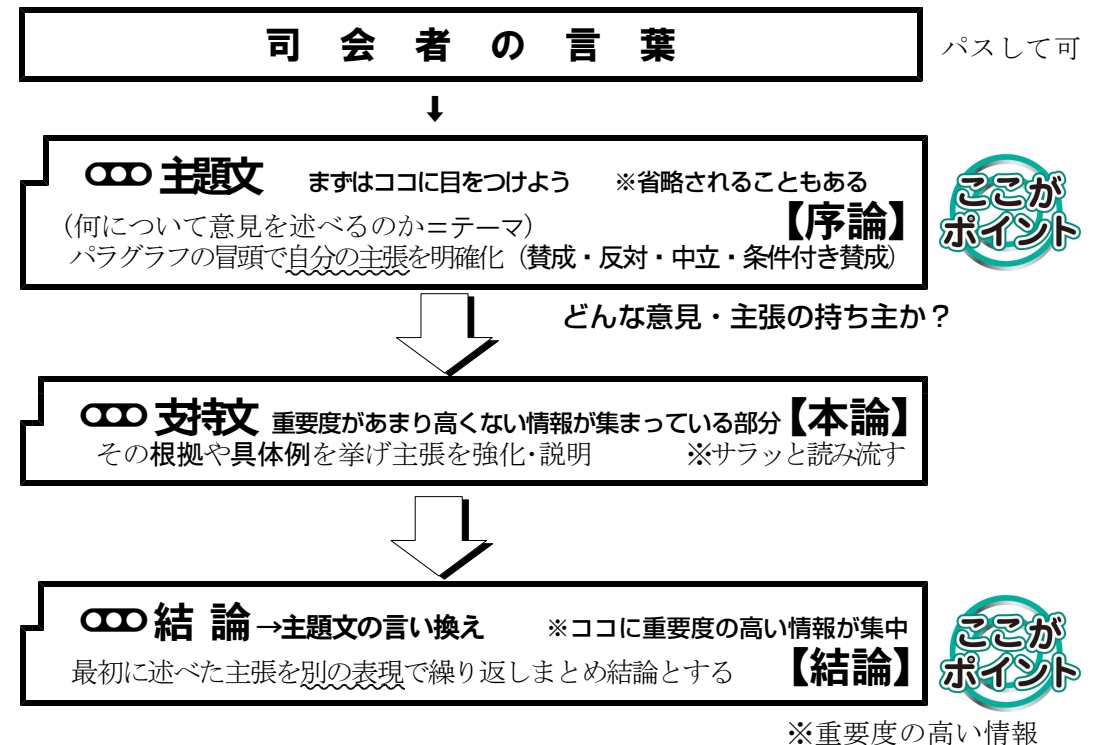
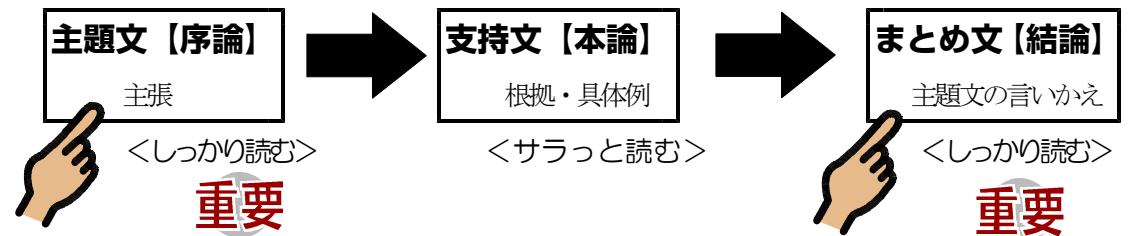
《解法の手順》 .....

- (1) 問題を見て、①②③④の英文に論理を表す語（つなぎ語、指示語など）があれば、○印で囲んでおく。
- (2) 英文の冒頭に「テーマ」が示されるので、これを頭にしっかりとたたき込んでから英

- 文を読み始める。「段落の中心話題」（1つしかない！）を意識して。
- (3) 読んでいて「アレッ」と思う英文に出くわしたら、それが内容のはずれた「仲間ハズレ」の文章で正解だ（テーマとのつながり）。○で囲んだ単語の前・後ろがうまくボタンが渡されているかチェックしよう（前後の文のつながり）。
- (4) 「内容」《易》のほうが「論理」《難》よりも簡単にできる。
- (5) アヤシイ文を発見したら必ず、その文を除けばボタンパスがうまくいくかどうかをチェック（検算）すること！

C. 発言要約問題 ※司会者はなくてもいいことしか言わない。スルーしてOK  
★日本語による場面設定の説明部分（討論のテーマ）は重要なので必ず読むべし！《重要》

■段落要旨問題の目の付け所はココだ！～「最初」と「最後」に注目





# ●これだけ知っておけばOK 「どこを見るか？」(最初と最後) 「何を見るか？」(次の2つ)

①「つなぎ語」…直前と直後の「論理関係」を示す→前と後ろのどちらが重要かを語る言葉←どこに注目するか？

■読解の際に役立つ「つなぎ語」 その論理関係は？

<b>逆接</b>	but, however, on the other hand	→	ひっくり返る→【後ろが重要】
<b>因果</b>	therefore, for this reason	→	そのまま →【後ろが重要】
<b>並列</b>	also, in addition, moreover, besides	→	そのまま →【前後が同じ】
<b>例示</b>	for example, for instance	→	そのまま →【前が重要】

②意見表明のシグナル…ここから「主張」をスタートする合図←何をチェックすればいいか？

## ＜筆者の主張・意見＞を導く表現

- ①should/ must/need/ have to/ ought to/ can/ 強調のdo などの助動詞の後
- ②important/ necessary/essential/ good/ bad などの主観的判断を表す形容詞の後
- ③I think/ I believe/ I'm sure/ I hope[wish]/ In my opinion/ As for me/ As far as I'm concerned など自分の見解を述べる表現の後
- ④逆接 (but/ however/ yet/ still/ though) の後
- ⑤in fact/ actually/ indeedなどの副詞 (語句) の後
- ⑥「例えば」(for example)「なぜなら」「第一に」の直前の英文
- ⑦appear/ seem/ lookの後

※本文中に上記のような単語が出てきたら、○で囲んでおくと、その近辺を後で読めばよい。

↑  
**注意せよ！**

●次のことも知っておくと意外に役に立つ。



## 極端の法則

ダメヨダメダメ！

次のような極端な修飾語のついた選択肢はほぼ×

### ① 100%系

all, every, any, always, absolutely, certainly, definitely, without exception など

### ② 0%系

no, never, none, not...any, few, little など

### ③ 限定系

only, just, merely, simply, alone など

## ★本文の内容を言い換えているものが○

## 【実践問題】

【3】 次の問い(A～C)に答えよ。

(配点 46)

A 次の問い(問1・問2)の英文を読み、下線部の語句の意味をそれぞれの文章から推測し、・に入れるのに最も適当なものを、それぞれ下の①～④のうちから一つずつ選べ。

問2

Taxi drivers in Japan have a reputation for being very competent and treating their passengers very well. Salesclerks and waiters show similar consideration for their customers. While eating out or shopping, many visitors to Japan are surprised by service that is more deferential than what they experience at home.

In this situation, deferential means .

- ① famous      ② honest      ③ ordinary      ④ respectful

### 下線部分とヒントの間に位置関係あり！

B

問3 次の問い(問1～3)のパラグラフ(段落)には、まとまりをよくするために取り除いた方がよい文が一つある。取り除く文として最も適当なものを、それぞれ下線部①～④のうちから一つずつ選べ。

One of the most important kitchen tools is the simple hand-operated can opener-the manual can opener. ① Can openers are needed to open some canned foods, and nowadays many people have easy-to-use electric ones. ② However, with a manual can opener, even when there is an electric power failure, you can still open cans. In fact, it is one of the first kitchen tools to disappear from supermarkets when a disaster occurs. ③ Another advantage of a manual can opener is that it will last for years without any maintenance. ④ Recently, even some electric can openers with multiple functions have been getting cheaper. In any event, it is always a good idea to have a manual can opener in your kitchen.

(2014年度追試験)

仲間ハズレを探す！

C 次の英文は、米国イリノイ州のある中学校の教師たちが卒業旅行について話し合っている場面の一部である。～に入れるのに最も適当なものを、それぞれ下の①～④のうちから一つずつ選べ。

Steve : Shall we start our meeting about this year's school trip? For the last five years we've been taking students to the state capital, Springfield, by train, and then taking a day trip by bus to St. Louis the next day. We go back to spend another night in Springfield and return home the next morning. Now, our new teacher, Amy Brown, has suggested that we might add another place to visit. Amy?

Amy : Thank you, Steve. I'd like to add a trip to Hannibal. As you all know, the students have read *The Adventures of Tom Sawyer* in my class. Hannibal is where Mark Twain grew up and it's the town he used in his story. It's just a couple of hours' bus ride from St. Louis along the Mississippi River. Hannibal has kept the neighborhood where Twain grew up just as it was in the 1840s. Students can experience what life was like during Tom Sawyer's time.

Steve : OK, Amy, you suggest visiting Hannibal because .

- ① both Hannibal and St. Louis are located on the Mississippi River  
② it will help students review what they learned in class  
③ St. Louis is farther away from Springfield than Hannibal  
④ the town is more beautiful than it was in the 19th century

(2013年度追試験)

司会の発言はパスしても可。最初と最後に注目！

# 同一内容異表現 の法則

## 第4問 図表・グラフ・広告問題

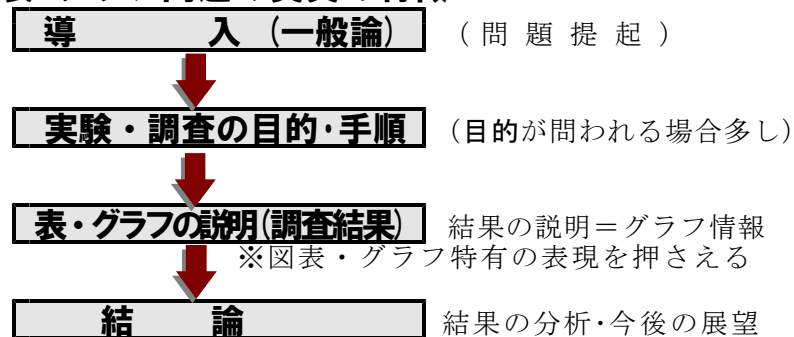
### A 図表・グラフ問題（間接資料）主役はあくまで「本文」 《難化傾向》 ●本文は本文、図表は図表

1. 表・グラフを見て、その内容をおおまかにつかむ（テーマの把握）。→何についての調査  
※図表・グラフはあくまでも本文のサポートに過ぎない。本文に集中せよ！
2. 設問文を読み、何が問われているかを確認する。→「キーワード」の確認（→文中）  
※どのような情報が出てくる？ 問われている情報は？
3. 本文冒頭に注意する（実験・調査の目的）。★ココがよく問われる  
「何についての文章が展開されるのか？」
4. 本文を読み進み、そこに書かれている情報を図表と対応させながら設問の答え（言い換え）を探す。  
※正解の根拠を図表から見つけるか、本文から見つけるかを見極め  
グラフは後回しも可 無関係な選択肢は消去し、他の選択肢の判別へ

☆「何が」「どこに」「どんなふうに」

「資料よりも本文に集中」の意識で！「いつ」「何が」「どうなった」？  
※グラフさえ見なければただの長文問題 図表・グラフ上方は圧倒的に本文後半に

#### ■図表・グラフ問題の英文の特徴



**設問を先に読み情報を探す！**

★固有名詞（地名や人名）・年代  
・数字・名詞や動詞・形容詞・副詞などが「キーワード」⇒本文中

#### 《新傾向問題》

「この後にどんな文章が続くか？」はこんなふうに解く！  
段落冒頭の **A** and **B** に注目。 **B** が正解。

**重要**

### B 広告問題（直接資料） 「広告」が主役

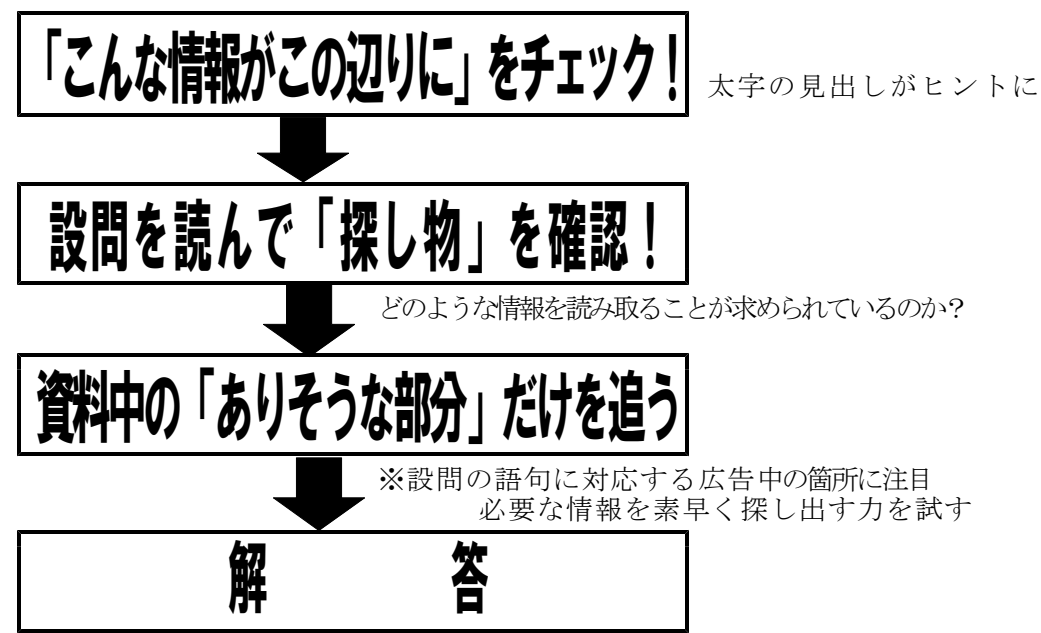
1. 広告文のタイトル、太字の見出しをザッと見て、何についての広告かを確認する。**重要!**  
①内容 ②対象 ③条件 ④期間 ⑤費用 ⑥特典
2. 第1の設問を読み（何を読み取る？）、その情報のみを求めて、広告文に目を走らせる（「設問確認→情報検索」）。  
※探している情報が見つからなくても、あわてない、あわてない。必ずどこかに書いてある。  
選択肢が数字の場合は計算が必要。複数個所に分散して落とし穴がある場合多し！  
見逃すな！
3. 正しい選択肢を選ぶ（言い換えに注意!）。同様に一つずつ、「設問確認→情報検索」をその後の問題について行う。

④数値計算問題はひっかけ要素に注意！利用すべき数字を間違えないように注意を払う。  
表記されている数字がそのまま答えになることはほぼないと思え！  
「消去法」の活用も大切なテクニック。

「資料」が全てダ！！必要な情報を素早く取得する！！ = **情報検索能力**

探したいものを頭に入れて、それだけを素早く探す  
「探し物」を設定→資料内情報をチェック

※問題指示文に「何についての資料か」が記載されているので、資料の主題を把握





## ■2種類の設問形式

### 内容一致問題

VS

### 内容真偽問題

計算問題  
キーワードは1つではない  
⇒片っ端から検索

⇒複数箇所の検索

キーワードは各選択肢に1つ

⇒選択肢1つ1つを検索  
(資料内の該当箇所)

⇒1つずつ○×を判定

## ★「同一内容異表現の法則」

### ●正解の選択肢

本文と違う表現・語彙で言い換える  
選択肢の内容が本文と一致しているもの

### ●不正解の選択肢

記述なし  
内容が本文とは明らかに異なっていたり、関連性がないもの  
本文の内容を越えて(逸脱して)しまっているもの  
本文中より明らかな数・量・程度の記述が不明確であったり異なっているもの  
「最も」「唯一の」「必ず」「絶対」「決して～ない」など程度の著しい語が使われている選択肢は×(極端の法則)

# 【実践問題】 8分で！

【4】 次の問い(A・B)に答えよ。《難》 追試はやはり難しい！

(配点 33)

A 次の文章とグラフを読み、下の問い(問1～3)に対する答えとして  ～  に入れるのに最も適当なものを、それぞれ下の①～④のうちから一つずつ選べ。

For thousands of years, humans have been fascinated by the planets in our solar system. The ancient Romans identified five of them, naming them after some of their gods: Jupiter, Mars, Mercury, Venus, and Saturn. Uranus and Neptune were not discovered until after the telescope was invented centuries later. More recently, space exploration has helped us answer questions asked in science fiction novels and movies, for example, “Could Mars support human life?” Given the planet’s average surface temperature (AST) of  $-65^{\circ}\text{C}$ , it would be close to impossible for people to survive there. We have also learned about various factors contributing to AST.

The most important factor determining a planet’s AST is its distance from the Sun. Figure 1 shows the ASTs of our solar system’s planets. They are arranged in order of distance from the Sun, with Mercury being the closest. In most cases, the farther from the Sun, the colder the planet. However, AST cannot be predicted only by a planet’s distance from the Sun. Other factors must be taken into consideration as well.

One of them is a planet’s atmosphere. For example, the atmosphere of Venus is composed primarily of carbon dioxide ( $\text{CO}_2$ ), which helps the planet retain the heat it receives from the Sun. Mercury’s atmosphere, on the other hand, contains no  $\text{CO}_2$ . As a result, although Venus is farther from the Sun, its AST is more than double that of Mercury.

In addition to atmosphere, other planetary features influence AST. One of these is the properties of a planet’s surface. The four planets closer to the Sun are called terrestrial planets because they are solid and rocky. The four planets farther from the Sun are called gas giants, huge balls of gas which lack solid surfaces. Terrestrial planets tend to retain more of the Sun’s heat than gas giants. Other minor aspects include a planet’s size, its gravity, and the length of its day.

Since these factors are differently interconnected for each planet, it is difficult for us to describe AST in simple terms. The ancient Romans would be amazed at what

we now know about our solar system. However, there are many more mysteries ahead of us that we have only begun to solve.

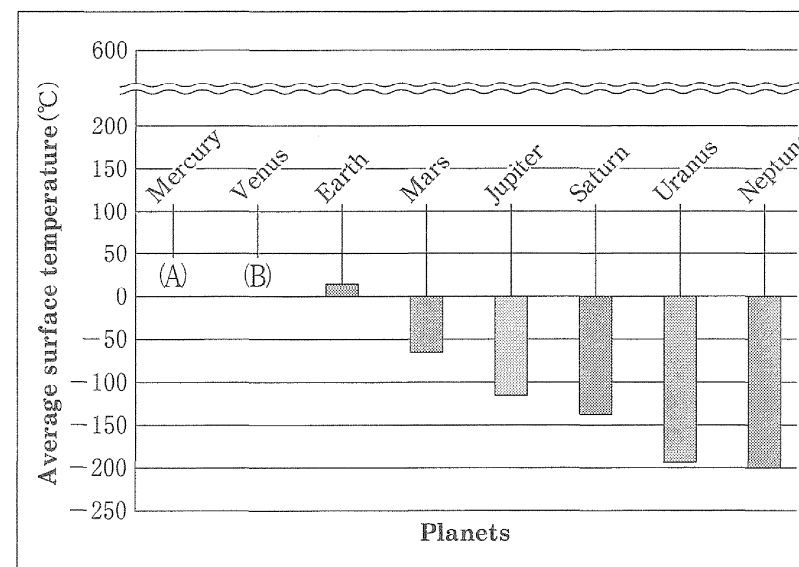


Figure 1. Average surface temperatures of planets in the solar system. (NASA (2011) の教育用ウェブサイトを参考に作成)

問1 Which of the following combinations most likely represents the ASTs for Mercury (A) and Venus (B)?

- ① (A)  $170^{\circ}\text{C}$  (B)  $460^{\circ}\text{C}$
- ② (A)  $230^{\circ}\text{C}$  (B)  $460^{\circ}\text{C}$
- ③ (A)  $290^{\circ}\text{C}$  (B)  $560^{\circ}\text{C}$
- ④ (A)  $350^{\circ}\text{C}$  (B)  $560^{\circ}\text{C}$

問2 Which combination of factors most strongly influences a planet’s AST?

- ① Its distance from the Sun and the length of its day.
- ② Its distance from the Sun and the nature of its atmosphere.
- ③ The nature of its atmosphere and its size.
- ④ The nature of its surface and the length of its day.

問3 《難》 Which of the following statements is true?

- ① All gas-based planets have ASTs lower than  $-150^{\circ}\text{C}$ .
- ② The ASTs of different planets influence each other.
- ③ The atmosphere of Mercury contains more  $\text{CO}_2$  than that of Venus.
- ④ There is only one terrestrial planet with an AST below zero.

(2013年度追試験)

## 第5問 長文ビジュアル問題

### 実は読解問題ダ！イラストさえなければタダの長文問題

他の長文よりも読みやすい⇒満点を狙う！

#### STEP 1 イラストに目を通し、何が描かれているかを確認する！

※イラストの「異なる部分」を把握



イラストは何を表しているか。「何が」「どこに」「どんなふうに」を大まかに把握する。どこが違っているのか？

#### STEP 2 設問をザッと読む！

#### + イラストに目を通し何が描かれているか？

長文問題では「何が問われているのか？」をあらかじめ仕込んでから英文を読もう。これを実践するだけで頭に入って来る内容の密度が全く異なる。選択肢は読む必要はない。



#### STEP 3 聞かれていることを頭に置きながら英文を読む！

《ある出来事についての2つの観点の異なる英文》 = <証言1><証言2>

設問中の「キーワード」(主として名詞・動詞)が出てきた箇所の近辺に「解答の根拠」が書いてある！

イラストに関する設問では、本文中のイラストの違いに関連のない部分はさっと読め！  
難解な語句に振り回されないこと！



#### STEP 4 「解答の根拠」になりそうな部分が出てきたら下線を引いてマークしておく！

何となく解答するのではなく、このように必ず「解答の根拠」の部分参照しながら、正解の選択肢を選ぶように日頃から練習しておく！（原文典拠の法則）どちらか一方の説明を読めば答えられる問題《易》と、両方の説明を読まないと答えられない問題《難》がある。「類似点」と「相違点」を整理しながら読む。

④自分がどこに注目して読んだかをマークしておく頭の中とテキスト中に痕跡が残り好都合



#### STEP 5 その「言い換え」の選択肢が正解だ！

「同一内容異表現の法則」

#### 《解答プロセス》

正解(○)の選択肢は、根拠の部分の「言い換え」となっていることがほとんど！  
→「言い換え」を探せ！  
間違い(×)の選択肢は一部分が「スリ替え」られている。第6問題も同様である。

### ■イラスト一致問題の解法は？→「何が」、「どこに」、「どんなふうに」？をチェックせよ！

1

英文を1文ずつ読み、何を言っているのかを確認する

(文字情報の把握)

必要な情報を取捨選択(下線を引いたり印をつけてマークすると効果的)

★動き、位置、方向、形状を表す表現に注意！ 事件や動作に注意



本文とイラストの照合

2

イラストをよく見て(ビジュアル情報の把握)、説明にぴったり一致するものを探す

①～④のイラストに条件を当てはめる

何が(what)

どこに(where)

どんなふうに(how)

を



★イラスト読解のポイント

3

1か所でも異なる点があったら候補から外す。全ての条件に一致するイラストを選択する→(正解)

本文と一致しないものを消していく(消去法)

正解を特定するためには、<証言1>?<証言2>の両方から必要な情報を捨てる必要あり！

<証言1>? → 該当設問解答 ⇒ <証言2> → 該当設問解答  
⇒ イラスト説明箇所のチェック → イラスト問題解答

長すぎると感じたら半分に分割して読んでもOK

4枚のイラストをよく見比べて、本文中のどの部分をチェックするか？

(イラスト説明は100%本文に述べられている) ⇒ 本文内からキーワードを検索

## 【実践問題】

【5】 次の文章は、二人の大学 2 年生が心理学科の新入生に向けて、それぞれの 1 年次の経験について大学に関する情報共有サイトに書いているものである。文章を読み、下の問い(問 1～5)の  ～  に入れるのに最も適当なものを、それぞれ下の①～④のうちから一つずつ選べ。

(配点 30)

### Message from Eri

#### My experience

Hi! I'm Eri, a second year psychology student. Have you thought about which courses to take yet? Unlike in high school, where your classes and time schedule are mostly decided for you, here you have a lot more flexibility. Also, there are no Saturday classes! The freedom is cool, but you need to plan your schedule carefully. I'll share my experiences and make recommendations so that you might get some ideas about how to create the best schedule for yourself.

My original plan was to take as many courses as possible in my first two years and then have a more open schedule from my third year. Even as a kid, I was someone who liked to finish all of my homework at the beginning of summer so that I'd have plenty of time to have fun during the rest of my vacation. However, this initial plan did not quite work out, and I had to change my schedule for the second year.

At first, I scheduled 14 classes a week. Because I left one day completely open for my part-time job, I had to have four classes in a row on three of the other days. I was used to attending classes all day in high school, but I didn't realize how difficult university lectures would be. By fourth period, I was usually too exhausted to concentrate, and I ended up failing two afternoon classes. What's more, I had no time to review my notes or readings right before class on those full days, and that eventually hurt my test scores as well as my final grades.

#### My advice

Now that I've told you about my first year, I'd like to give you a couple of recommendations for your weekly schedules. First, don't schedule four classes on one day. You'll get too tired by the end of the day. Also, try to have a break or free period between classes in order to leave time to prepare for your next class. It's best to avoid scheduling two classes in a row. I hope you've gotten some good ideas, and maybe even learned from my mistakes.

### Message from Kosuke

#### My experience

Congratulations and welcome! There's a lot to think about when making your schedules, and maybe my experience and advice will point you in the right direction. Overall, I did pretty well scheduling my first year courses. The best thing I did was to take Professor Sawada's Introductory Psychology right away because the course topics are essential for all the other psychology courses.

One of my concerns was how many classes to take per semester. Because I hate to have too many classes in one year, I chose to balance them out. By taking eight classes per semester, I can earn all the credits I need to graduate in four years. So, here's the routine I've established: work part-time in the mornings, take two afternoon classes, and have Wednesdays off for my club activity. This works for me because I won't be able to keep getting good grades if I take more than eight classes. However, one problem is that I'll have to take the same number of classes in my third and fourth years. I'll also have to start job hunting which will probably affect my daily routine. I may need to quit my club activity or part-time job, which is too bad.

#### My advice

Maybe my personal routine doesn't work for you, but here's some advice you really need for your first year. Along with Introductory Psychology on Tuesday third period, another good course to take early on is Statistics, which is always held on Thursday during fourth period. You may also want to find out your advisor's office hours and fit that into your schedule so you can visit if necessary. I know it's a lot to think about at first, but it gets easier. Don't worry! Have fun with your first year



of college!

問 1 Eri describes herself as a person who 41.

- ① doesn't worry about getting high grades
- ② is flexible and creative
- ③ is willing to take risks
- ④ tries to finish all of her work early

問 2 After her first year, Eri adjusted her plan because she 42.

- ① couldn't join the club that she liked
- ② didn't do well in some of her classes
- ③ had fun during her summer vacation
- ④ wanted to take more morning classes

問 3 《難》 Kosuke's description of his experience implies that he 43.

- ① couldn't attend Professor Sawada's Introductory Psychology class
- ② has been satisfied with the grades he has gotten so far
- ③ was used to having classes all day when he was in high school
- ④ will not change his everyday schedule in his third or fourth year

★<想像力>を必要とするので《難》

問 4 《難》 When planning their first year schedules, Eri and Kosuke 44.

- ① chose to have classes four days a week
- ② included time for their club activities
- ③ used recommendations from other students
- ④ used their high school routines as models

問 5 Which of the following shows the best schedule for first year students if they follow both Eri's and Kosuke's advice? 45

①

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1		Class	Class		
2	Class			Office Hour	Class
Lunch Break					
3		Class	Class		
4	Class			Class	Class

②

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1		Class			
2	Class		Class	Class	Office Hour
Lunch Break					
3	Class	Class	Class	Class	Class
4					

③

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1	Class	Class			
2	Class	Office Hour			
Lunch Break					
3	Class	Class	Class	Class	Class
4	Class			Class	Class

④

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1			Class	Class	Class
2		Class			Office Hour
Lunch Break					
3	Class	Class	Class	Class	
4				Class	

(2013年度追試験)

《ヒント》

破線部 は片方の証言で解答可能

下線部 は両方の証言を参照する必要あり

正しいイラストを選ぶ手がかりは、2人の発言の両方に出てくることが多いので、手がかりには下線を引き、情報を総合して正解のイラストを選択する。

## 第6問 評論文問題

**最も長い英文 (700~800語) 読解スタミナ必要!**  
**★解答の根拠を明らかにする習慣を!★ (原文典拠の法則)**

1. 設問文をザッと読み、本文全体のテーマに関する情報を仕込む。  
※選択肢は読む必要なし!
2. 設問中の「キーワード」(名詞・動詞・場所・時間)を本文中に見つけて、その前後を読む。**重要!**
3. 各段落のテーマは、最初か最後に来ることが多い。段落ごとに「言いたいこと」の中心を把握。「一言メモ」を余白に。特に第1段落は丁寧に。  
★「日本語に訳す力」ではなく「英語を前から英語として読み、内容を理解する力」
4. 明確な根拠となる英文を探し、正しい選択肢を選ぶ(言い換え)。1問ずつこれを繰り返す。  
**消去法も。[原文典拠の法則] = 「対照力」が重要**  
※本文と問を往復しながら、問題は上から順番に解いていく(設問は段落順になっている)「原文典拠の法則」に忠実に!

※真偽の判定は必ず本文に記述されたことを根拠として行うこと。

### ★第6問の解き方のポイント

★英文の長さに負けないスタミナ

- (1) 「設問」の先読み<読解の目標> — 選択肢は読む必要なし!  
本文内容のヒントを得る 選択肢は後からでよし(3つは誤り)
- (2) 「読みながら、解きながら」が鉄則  
 1つの段落を読み終わるたびに該当設問を解く!  
本文と設問を行ったり来たり (1)を読んで(1)に関する設問を解く

- (3) 「原文典拠の法則」 — 「思考の痕跡」を残せ!  
後で確かめるために根拠とした部分に下線を引く
- (4) 「同一内容異表現の法則」 — 本文を違う表現で言い換える **重要**  
「言い換え」を探せ—「対照力」が問われている!
- (5) Bの要旨問題はA問題の「正解選択肢」& 「一言メモ」をヒントに解く!  
段落の重要ポイントがA問題に=要点 主題と具体例を識別

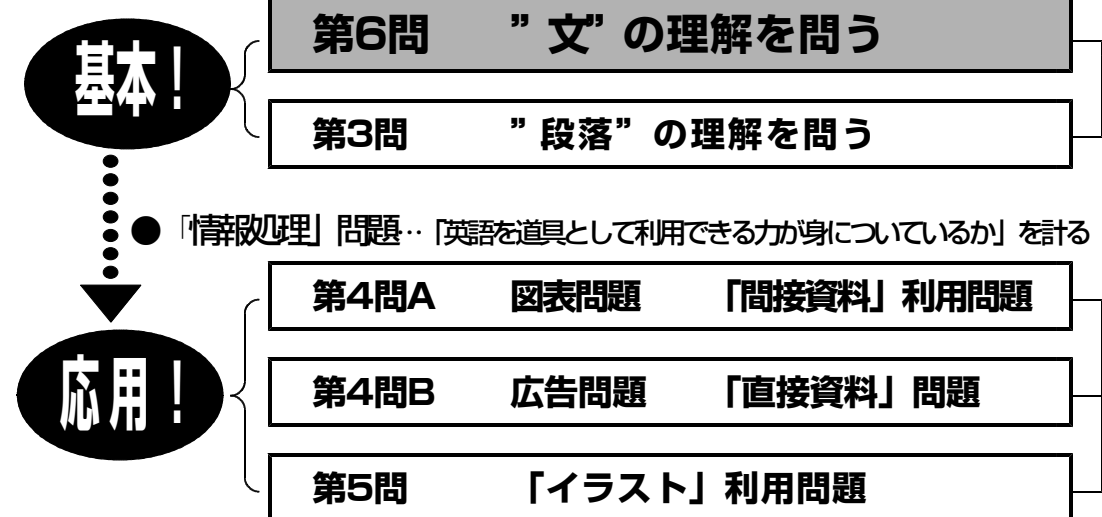
### 《お薦めの解答プロセス》

A問1 設問文チェック → 該当パラグラフを読む  
 → A問1に解答→パラグラフの最初と最後の内容をチェック  
 → B(該当パラグラフのみ) 解答→A問2設問文チェック  
(以下繰り返し...)

● A問→B→A問→B が効率のよい解答リズム

### ■センター試験長文読解問題の狙いは?

- 「英文解釈」問題…「英語を読む力が身についているか」を計る



**第3問～第6問を制する者が  
 センターを制する!(得意な順で解く)**

## 【実践問題】

※時間配分が大切！  
23分で！



【6】 次の文章を読み、下の問い(A・B)に答えよ。なお、文章の左にある(1)～(6)は段落の番号を表している。

(配点 36)

(1) Chikako has arrived in Australia for the first time to study English. Her host family picks her up from the airport and takes her to their home. When she steps through the front door, she has a strong feeling that she has been in the house before. She sees a white couch against a sky-blue wall and a glass coffee table covered with magazines in front of the couch. She cannot remember when she saw this scene, but she believes that this is not the first time.

(2) The feeling that Chikako has is called déjà vu, which is French for “already seen,” and most of us have experienced it at some point in our lives. Some people choose to ignore it because the feeling of recalling a new experience seems unnatural. Déjà vu, however, is not uncommon and has been the subject of scientific studies since the 19th century. Many researchers today are starting to see the value in investigating déjà vu, and more than thirty possible theories have been offered to explain the phenomenon. Of these theories, three promising explanations will be reviewed here.

(3) The first explanation for déjà vu is that we have a strong feeling of familiarity when we have unconsciously seen something a moment earlier. For example, suppose a man enters a museum for the first time, and a giant dinosaur in the center of the main exhibition area draws his attention. There is also a jungle-patterned staircase on his left, which he only sees unconsciously because his attention is on the dinosaur. A few minutes later, when he decides to go and see other exhibitions, his eyes directly catch the staircase. At this moment, he is struck by an unexpected sense that he has seen the same staircase before but cannot remember when and he announces his strange déjà vu experience to his wife.

(4) In another situation, a woman first sees the living room of a friend’s new apartment that has a similar arrangement to the one in her parent’s house. In this case, she enters a new scene that is like one she has previously encountered. Even though none of the individual elements is familiar, she has experienced an arrangement very similar to this one — a lamp in the corner, a picture on the back wall, a couch in the middle of the room. Thus, the second explanation suggests that if we are in a place where the arrangement of objects is similar to that of a place we have been to before, we might have a feeling of knowing the place and call it déjà vu.

(5) The last explanation for déjà vu has come from studies about how the brain functions. These studies have shown that it can be caused by unusual processing of information in the brain. When something is seen, the visual information is sent to a particular part of the brain through different pathways. The data from these pathways normally reach the destination at the same time to form a whole image, but sometimes there is a slight delay in one of the pathways. As a result, the brain interprets one experience as two and a déjà vu feeling occurs.

(6) Three promising explanations of déjà vu have been presented here. Chikako’s experience can be explained by one of the three theories or a combination of them. Learning about déjà vu can help us understand how we perceive the material world around us, and that, in turn, can reveal more about how our brains handle routine information. Although we know more about déjà vu now, questions still remain. For example, why does it occur frequently during everyday activities? Why does it decrease with age? It will be interesting to seek the answers to these questions.

A 次の問い(問1～5)の  ～  に入れるのに最も適当なものを、それぞれ下の①～④のうちから一つずつ選べ。

問1 Paragraph (2) implies that .

- ① déjà vu is a lot more common in France
- ② déjà vu is considered a worthy topic for study
- ③ more studies will be done to stop people feeling déjà vu
- ④ people who have déjà vu tend to think about their own lives

問2 The man in paragraph (3) felt déjà vu because he .

- ① had seen an object without knowing it
- ② previously paid close attention to an object
- ③ saw an object that looked like one of his own belongings
- ④ saw an unexpected object in a familiar place

問3 According to paragraph (4), déjà vu can occur in a room where .

- ① the furniture is similar in color to your own
- ② the layout is familiar to you
- ③ there are items you have seen before
- ④ you have been before

問4 According to the explanation in paragraph (5), the studies of the brain show that  can cause déjà vu.

- ① a delay in the processing of information
- ② data delivered through different pathways
- ③ processing different information at the same time
- ④ sending whole images to the destination

問5 The author argues that .

- ① Chikako's déjà vu experience doesn't fit any of the explanations
- ② déjà vu can show how the brain processes the things we see
- ③ research on déjà vu can help people learn how to avoid it
- ④ too little is known about déjà vu for scientific investigation

**※指示された段落を読めば、正解が分かる！**  
**本文や設問での語句の言い換えには敏感に！**

B 次の表は、本文の段落と内容をまとめたものである。～に入れるのに最も適当なものを、下の①～⑤のうちから一つずつ選び、表を完成させよ。ただし、同じものを繰り返し選んではいけない。

Paragraph	Content
(1)	<input type="text" value="51"/>
(2)	An introduction of déjà vu
(3)	<input type="text" value="52"/>
(4)	<input type="text" value="53"/>
(5)	<input type="text" value="54"/>
(6)	<input type="text" value="55"/>

問1～問5の答えと「一言メモ」を参考に

- ① A biological reason for déjà vu
- ② A déjà vu experience
- ③ Being unaware of things in our vision
- ④ Contributions of déjà vu research
- ⑤ Déjà vu and the placement of objects

●時間は定点観測が鉄則（各設問ごとに目標時間を）

●万が一問題形式に変更があった場合も落ち着いて解答すること 《重要》  
 （傾向が変わった問題は大半が《易》）